

平成24年9月28日

各 位

会 社 名 株式会社ワイヤレスゲート
(コード9419：マザーズ)

住所 東京都品川区東品川2-2-20
天王洲郵船ビル4階

代表者 代 表 取 締 役 C E O 池田 武弘
問合先 コーポレート・

マネジメントグループ

マネージャー 須永 直樹

(TEL. 03-6433-2045)

個人投資家向け合同 IR 説明会 説明資料

この度、株式会社ワイヤレスゲートは平成24年9月29日（土）に日興アイ・アール株式会社の主催により、個人投資家向け合同 IR 説明会を開催いたします。つきましては使用予定の資料を掲載いたしますのでお知らせいたします。

○ 開催要項

開催日時 平成24年9月29日（土） 14：30～15：15

開催場所 東京証券会館9階会議室 東京都中央区日本橋茅場町1-5-8

説明者 代表取締役 CEO 池田 武弘（いけだ たけひろ）

説明内容 事業概要等について

【資料】

次頁以下に当説明会にて使用予定の資料を掲載させていただきますのでご覧ください。
なお、お申し込みは主催の日興アイ・アール株式会社を通じて受付けておりましたが、終了しております。

以 上

個人投資家向け 合同 IR 説明会

2012年9月29日
東京証券会館
株式会社ワイヤレスゲート
(東証マザーズ：9419)



本日のご説明内容

- 会社概要/ビジネス構造
- 強み
- 業績推移
- 今後の成長戦略
- 株価の推移/株主還元

会社概要/ビジネス構造

会社概要

商号	株式会社ワイヤレスゲート
本社	東京都品川区東品川2-2-20 天王洲郵船ビル4F
設立	2004年 1月26日設立
代表取締役	池田 武弘(工学博士)
資本金	616,139千円 (2012年 6月30日現在)
従業員数	10名 (2012年 9月29日現在) ※アルバイト/パート、契約社員:0名
市場	東証マザーズ (2012年7月19日上場) 証券コード:9419
主要取引先	株式会社ヨドバシカメラ、UQコミュニケーションズ株式会社、ソフトバンクテレコム株式会社、NTTコミュニケーションズ株式会社 など
事業内容	ワイヤレス・ブロードバンドサービスの提供 ワイヤレス・プラットフォームサービスの提供 コーポレートサイト http://www.wirelessgate.co.jp/ サービスサイト http://www.wi-gate.net/ (携帯、PC)

経営理念



「ワイヤレス・ブロードバンドサービスを通じて、
より創造性あふれる社会の実現を目指す。」

何をする会社か？

通信インフラを所有しない仮想移動体通信事業者として
複数の無線通信事業者から通信インフラを借り受けて
ワイヤレス・ブロードバンドサービスを提供

簡単に言うと・・・

複数の高速な無線通信サービスを、
ワンストップで分かりやすく提供する会社です！

代表・池田の経歴

・もともとは無線通信技術者

博士論文:

適応アクセス・伝送制御を用いたマルチメディア無線通信に関する研究

社会人(NTTドコモ)時代の仕事:

4G(今のLTE-Advanced)実現に向けた要素研究

素晴らしい無線通信の技術を世の中に広め
誰でも簡単に無線通信サービスを利用できるようにしたい

無線通信のいいところ

エコ（レアメタル不要）

きれい

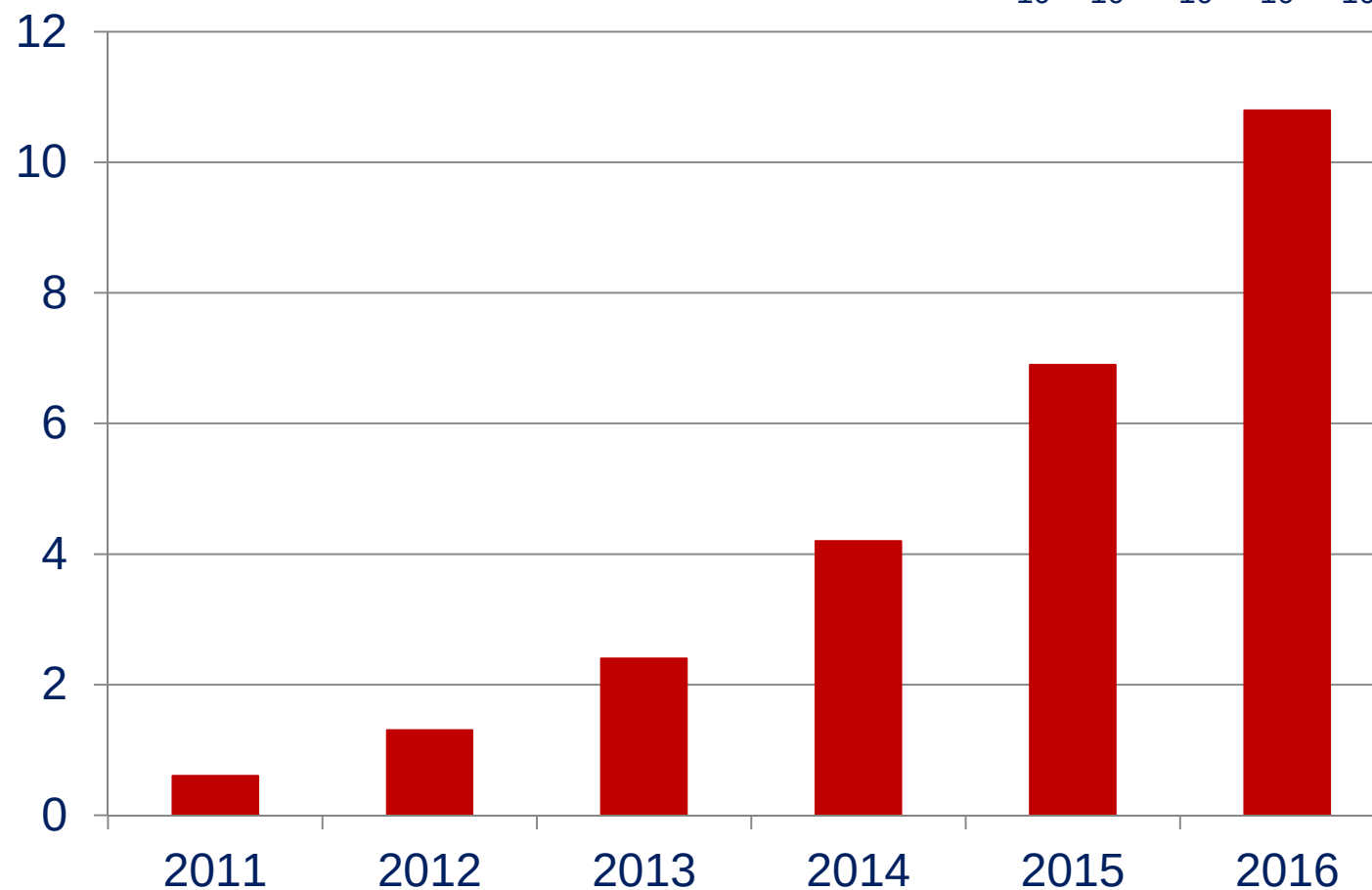
端末に有線のポートがない



モバイルデータトラフィック予測

エクサバイト/月

キロ < メガ < ギガ < テラ < ペタ < エクサ
 10^3 10^6 10^9 10^{12} 10^{15} 10^{18}



出典: Cisco Visual Networking Index: 全世界のモバイル データトラフィックの予測、2011 ~ 2016 年アップデート, 2012

無線ブロードバンドサービスの分類

速度 × エリア × コスト (× デバイス)

	スピード	エリア	コスト	デバイス
WiFi	◎	×	◎	◎
WiMAX	○	○	△	×
LTE(+3G)	○	◎	×	×

ひとつの技術では、お客様の
ニーズにあったサービスの提供が困難

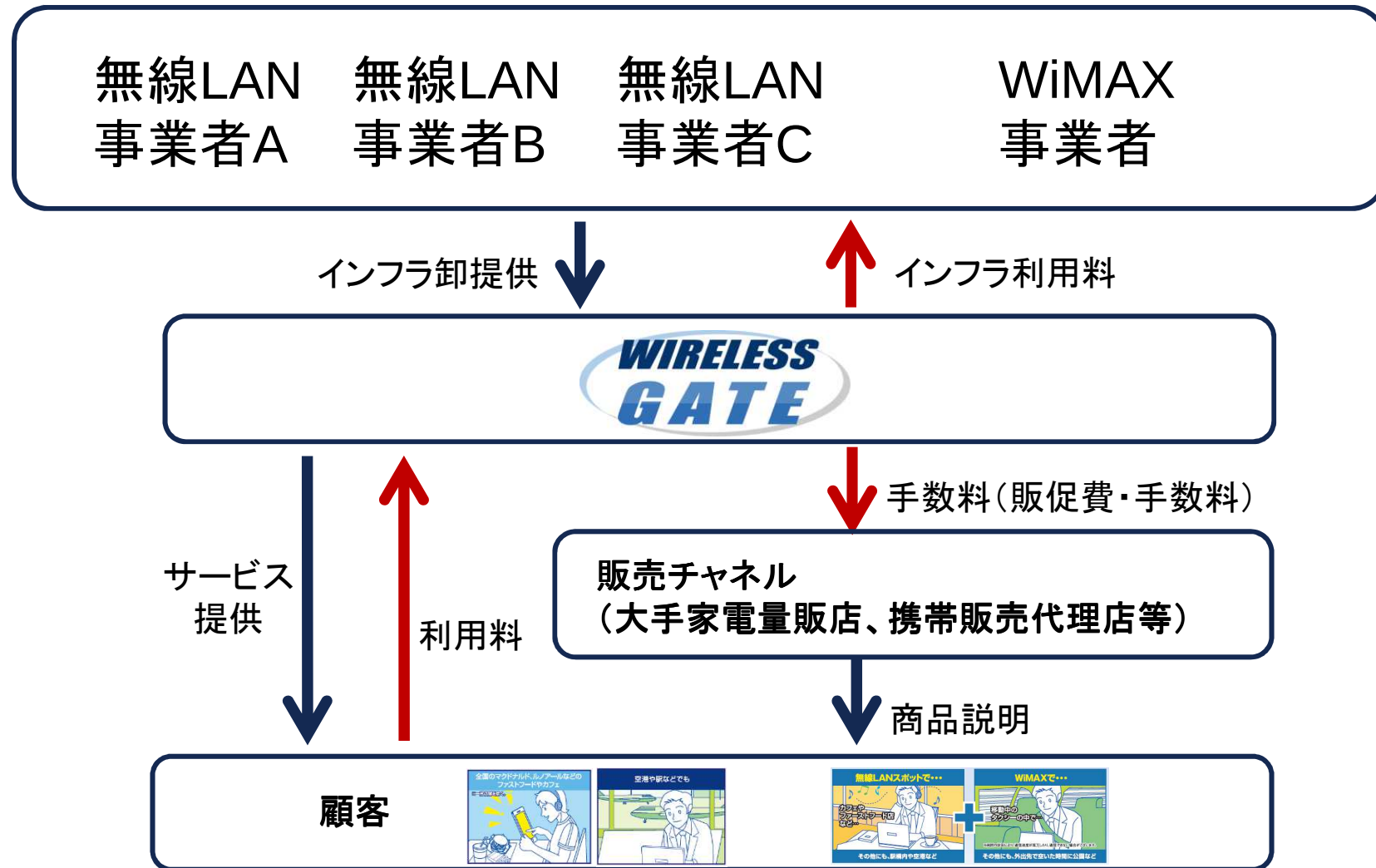
たどり着いたビジネスモデル



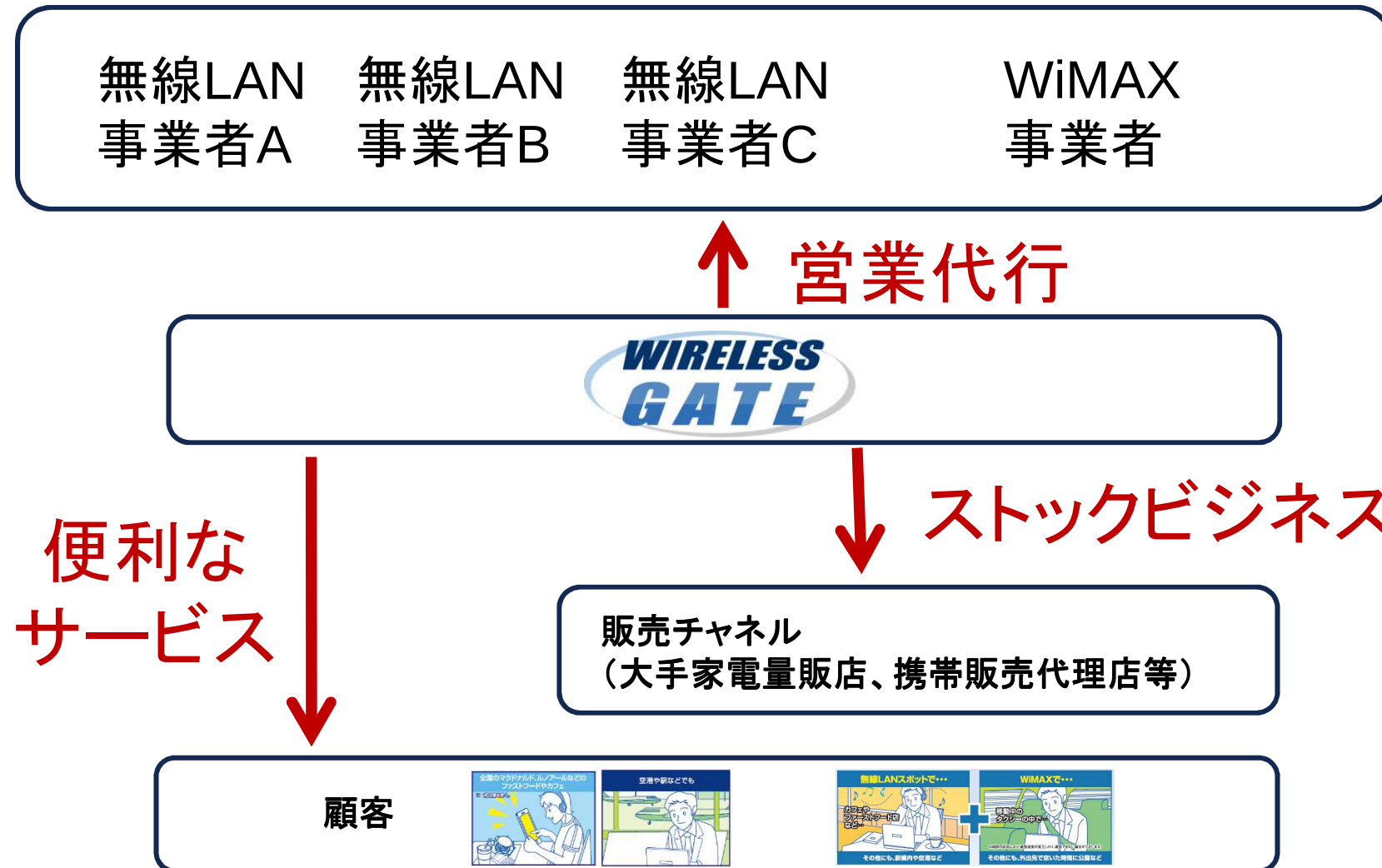
我々のビジネスモデルの良いところ

- 持続的な成長が可能
 - 新しい通信技術が市場に登場した場合にも、最適なタイミングでその技術の提供が可能
- 低コストでのオペレーションが可能
 - 新しい通信技術の対応にも、大規模な先行投資が不要

ビジネス構造



提供する価値



強み

1. ポジショニング
2. 強固で安定した販売パートナー
3. 安定した収益基盤

ポジショニング

- 独立系MVNO事業者
 - 様々な通信事業者から、様々な通信技術の卸受けが可能
- 先行者利益
 - 高い認知度による効率的な顧客獲得
 - マーケットシェアによる規模の経済
 - 業務提携機会の増大
 - 有力販路の早期確保

強固で安定した販売パートナー

- 大手家電量販店「ヨドバシカメラ」様との業務・資本提携

端末(ハード)

×

ワイヤレス・ブロードバンド・サービス



ハードとサービスを組み合わせる販売手法を構築し、お客様の端末購入時に、ワイヤレスサービスを販売

安定した収益基盤

累積会員数によるストックビジネス

$$\text{利益} = \text{会員数} \times \text{顧客単価} - \text{コスト}$$

累積会員数の増大が収益の拡大に直結する

費用も売上連動となるため多額の投資を必要としない

固定コスト(人件費、システム費)はほとんど増加しない

無借金経営

役員・従業員の職務内容

役員(7名)

取締役



監査役



従業員(10名)



業績推移

Wi-Fi サービス紹介

プラン	月額料金	代表的なスポット
オールワン   	780円	マクドナルド、タリーズ、スターバックス、東京メトロ/都営地下鉄、空港、東海道新幹線
モバイルポイント+プラス  	380円	マクドナルド、東海道新幹線
ホットスポット+プラス  	480円	タリーズ、スターバックス、東京メトロ/都営地下鉄、空港、東海道新幹線

WiMAX サービス紹介

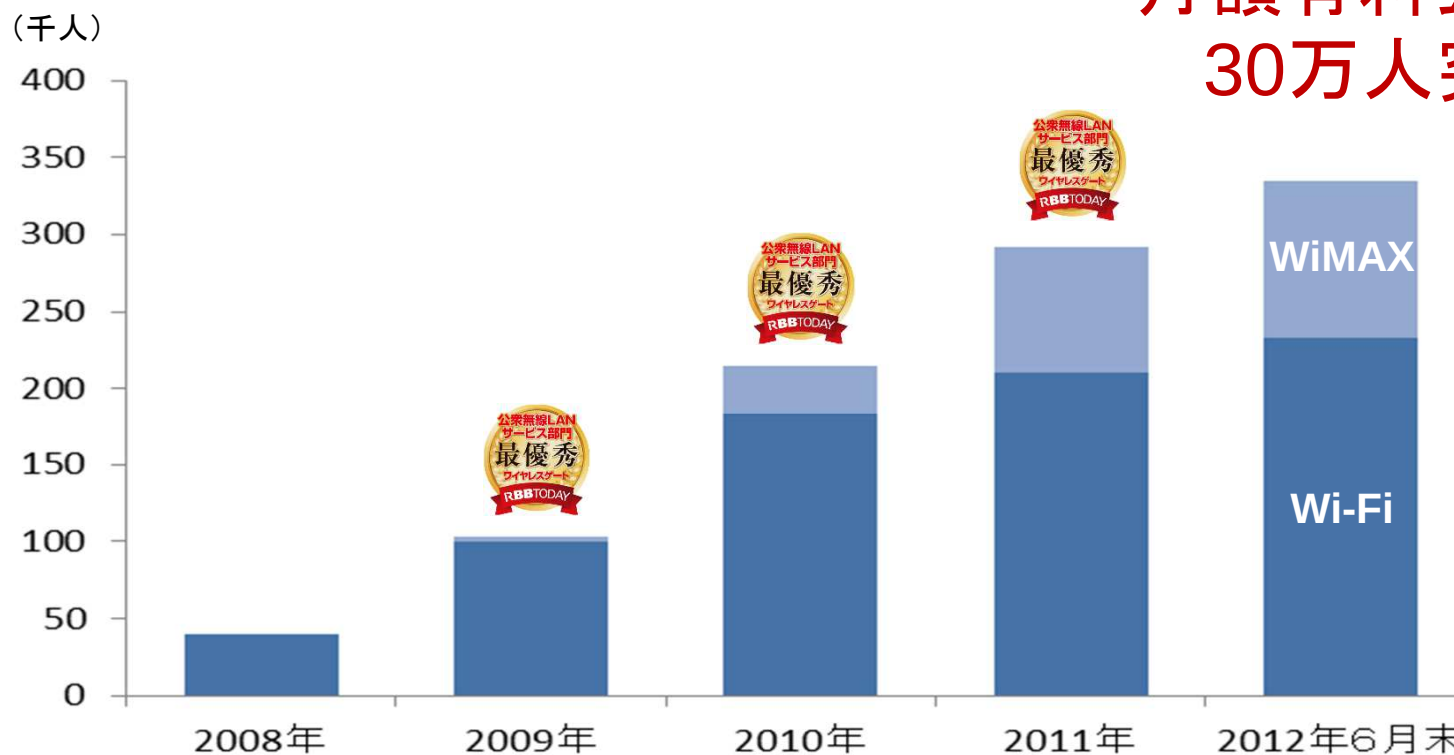
プラン	月額料金	特徴
年間パスポート  +  	3,880円	使い放題 1年間契約縛り
定額プラン  +  	4,480円	使い放題 契約縛り無し
ステッププラン  +  	380～4,980円	データ量に 応じた課金

月額有料会員数の推移

RBB TODAY モバイルアワード2011*
公衆無線LANサービスランキング

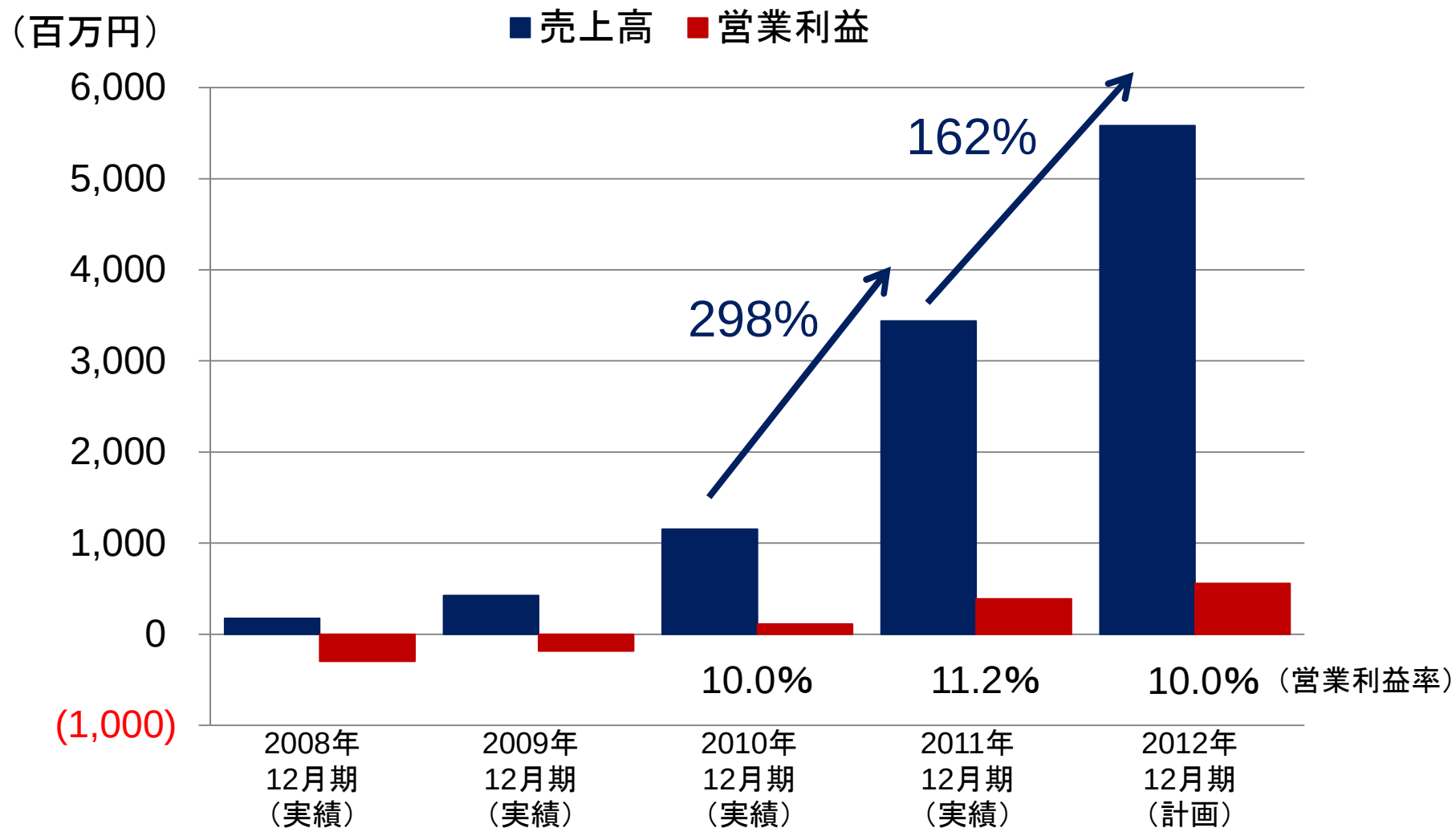
ベスト公衆無線LAN(Wi-Fi)
を3年連続受賞

月額有料会員数
30万人突破



* 「RBB TODAY モバイルアワード2011」は、読者投票によりお客様満足度・期待度の高いモバイル通信サービスを選出したアワードです。

業績推移



2012年12月期第2四半期までの進捗状況

(単位:百万円、%)

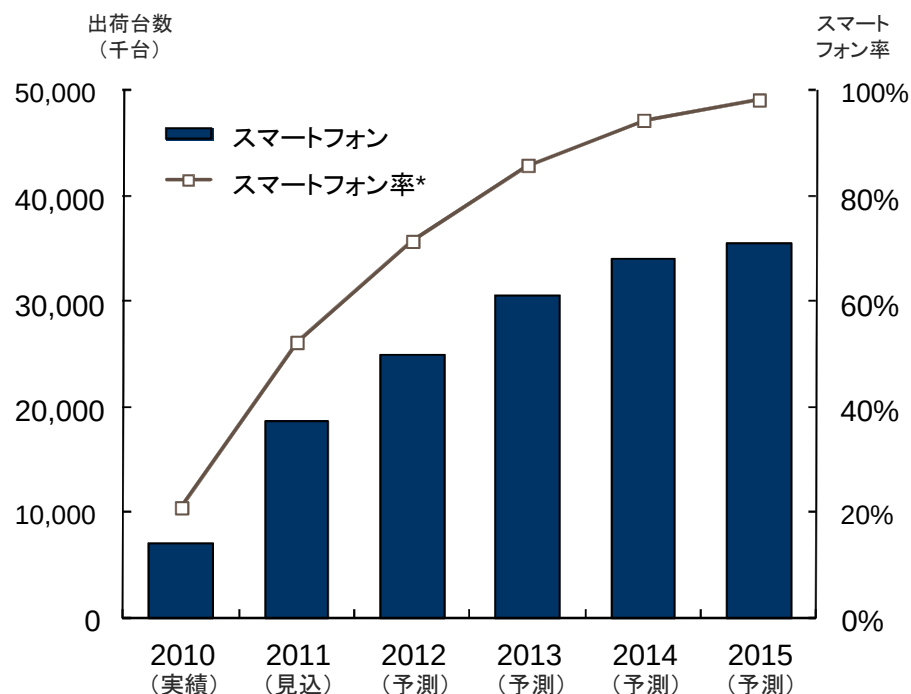
決算期 単体 項目	2012年12月期 (予想)			2012年12月期 第2四半期 累計期間(実績)		対予想	2011年12月期 (実績)	
		構成比	前年比		構成比	進捗率		構成比
売上高	5,582	100.0	162.2	2,562	100.0	45.9	3,440	100.0
営業利益	558	10.0	144.5	286	11.2	51.4	386	11.2
経常利益	548	9.8	141.8	284	11.1	51.9	386	11.2
当期(四半期) 純利益	412	7.4	147.7	254	9.9	61.8	279	8.1

(注)当社は子会社がありませんので、連結財務諸表は作成しておりません。

今後の成長戦略

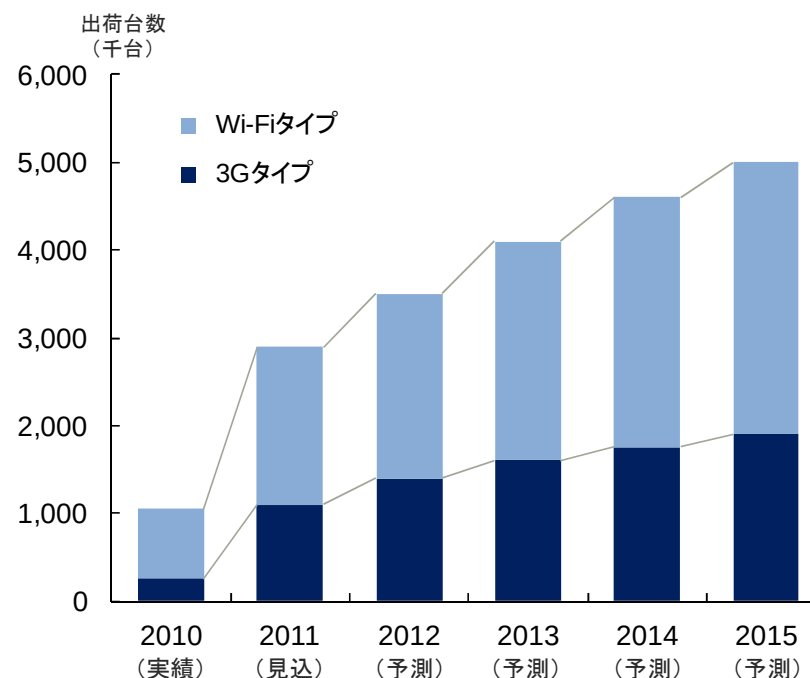
ターゲット端末の出荷台数予測

スマートフォン出荷台数
毎年2,000～4,000万台



* スマートフォン率: スマートフォン出荷台数/携帯電話出荷台数計
(出所) 富士キメラ総研 『2011スマートフォンビジネス総調査』

タブレット端末出荷台数
毎年300～500万台



(出所) 富士キメラ総研 『2011スマートフォンビジネス総調査』

成長戦略

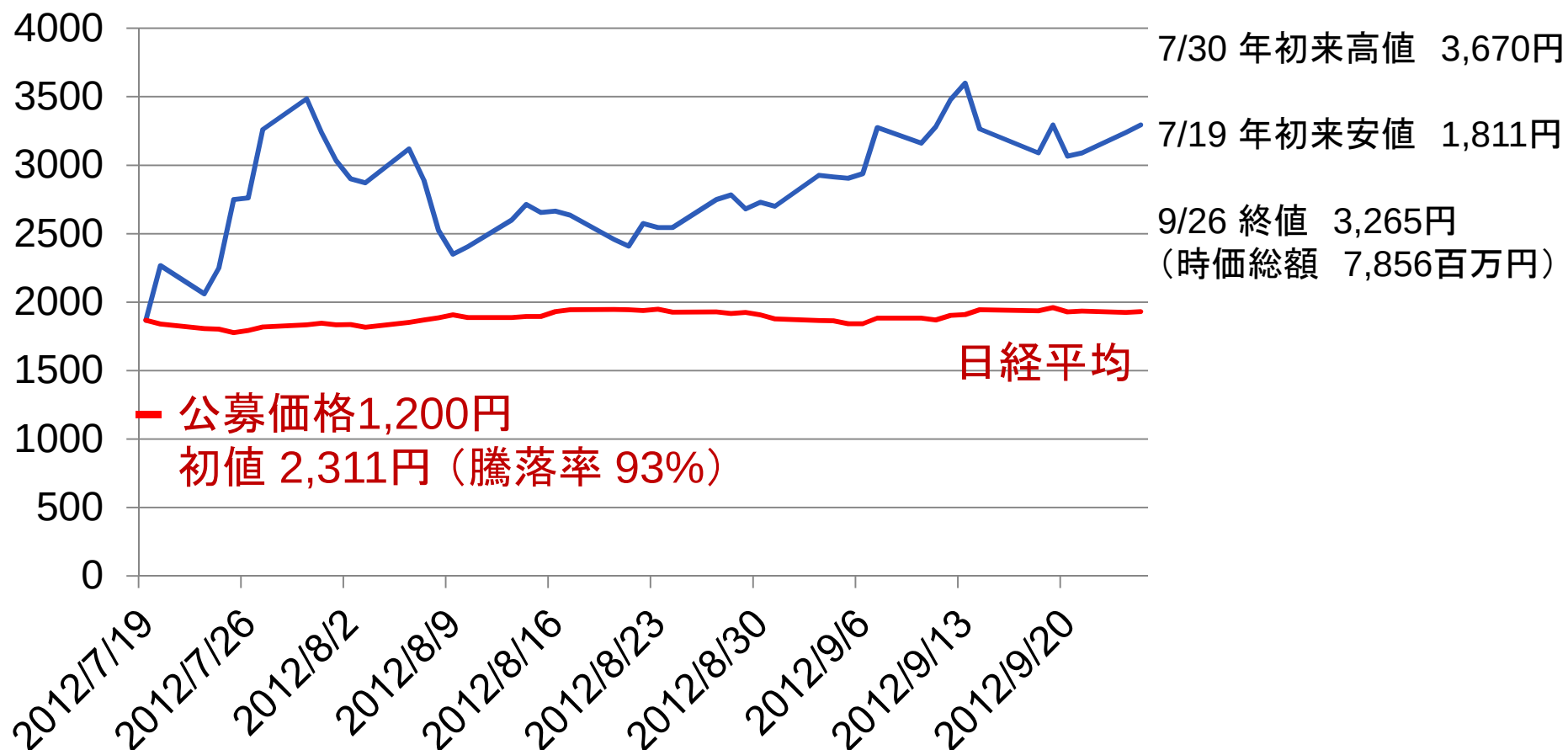
- 累積会員数の拡大
 - 販売チャネルの多様化
 - 大手携帯販売代理店における販売代理店契約締結済(トライアルサービス準備中)
- 次世代通信規格への適宜対応
 - LTEへの対応(キャリア選定、システム対応済)
 - 顧客ニーズの検証
- 収益源の拡大
 - SNSアプリケーション・サービスの展開

株価の推移/株主還元

株価(終値)の推移

株価(円)

7月19日 マザーズ上場



株主還元に関する考え方

当社は第1期から第6期までは当期純損失を計上しており、第8期事業年度末においても配当可能利益の蓄積が進んでいないことから、設立以来、配当を実施しておりませんが、株主に対する利益還元を重要な経営課題と認識しております。

今後は、業績や配当性向、将来的な成長戦略などを総合的に勘案して決定していく方針ですが、現時点において株主優待、配当実施の可能性及びその実施時期については未定であります。

将来見通しに対する注意事項

- ✓ 本発表において提供される資料及び情報は、いわゆる「見通し情報 (forward-looking statements)」を含みます。これらは現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- ✓ これらリスクや不確実性には、一般的な業界並びに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。
- ✓ 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。